職務経歴書

基本情報

項目名	内容
氏名	久下 兼二朗(Kenjiro Kuge)
生年月日	1997/02/11
居住地	東京都
最終学歴	東京理科大学 応用数学科卒

各種アカウント



意欲・興味

- クラウド技術を活用したインフラ設計・構築や開発に強い関心を持っています
- チームマネジメントやプロダクトの改善に貢献し、メンバーの成長をサポートすることに意欲があります
- 新しい技術やツールの採用を積極的に推進し、より良い開発環境を構築したいと考えています

スキル

開発手法

- アジャイル開発
- チケット駆動開発

実務経験での利用



実務以外での利用



通信プロトコル

- HTTP/HTTPS
- REST
- SAML

RDB

- MySQL
- Redis

クラウド

AWS

• EC2, VPC, Lambda, RDS, ElastiCache, S3, SES, SNS, SQS, API Gateway, KMS, Route 53, ACM, AWS WAF

Google Cloud

• Google Calendar API, Google Sheets API, Cloud Vision API

SaaS/PaaS

- Azure AD
- Microsoft Graph API

その他

• Git

職務経歴詳細

▼ 2020/04~現在 株式会社ツナググループ・ホールディングス

採用管理システム(ATS)開発プロジェクト

【雇用形態】

正社員

【在籍期間】

2020/04 ~ 現在

【チーム編成】

- PM:1名
- バックエンドエンジニア: 4~7名

【ステークホルダー】

• クライアント: 100 社弱

【言語・フレームワーク】

- PHP (Laravel)
- JavaScript (jQuery)
- Python
- Selenium

【インフラ】

- AWS
 - 。 EC2, VPC, Lambda, RDS, S3, AWS WAF など

【通信プロトコル】

- HTTP/HTTPS
- REST
- SAML

【ツール】

- タスク管理: Backlog
- コミュニケーション: Slack, Teams

【プロダクトが属する業界】

人材・採用業界

【プロダクト概要】

- 求人情報の集約・応募管理・選考管理を一元化するシステム。
- 求職者と企業のマッチング精度を高めるため、外部 API(Google Calendar API など)を活用した面接管理機能を搭載。

【チームの特徴・課題】

- チーム間の連携が強く、コミュニケーションが活発。
- 初期段階では、運用フローの標準化が課題となっていたが、チェックリスト・マニュアル化により改善。

【チームでの役割】

- プロジェクトの要件定義、設計、実装をリード。
- クライアント要望に応じたカスタマイズ機能の提案・実装を担当。

【成果】

- 求人検索エンジン「Indeed」との連携機能(IndeedPlus)を実装し、業務効率化を実現。
- Azure AD を利用した SAML 認証のシングルサインオン機能を導入。
- チャットボット/ヒアリングシート機能を開発し、応募者対応の自動化を推進。
- AWS WAF の導入及び運用手順のマニュアル化。最終的に WAF の自動運用を行うサービス 「WafCharm」に移 行まで担当。
- SEO 対策として求人サイトのサイトマップ XML を自動生成するバッチ処理を実装。

管理職としての業務内容

チームマネジメント

- 役割の変遷:
 - 2023年1月にチームリーダーに昇格
 - o 2023年 10月に開発グループマネージャーとしてマネジメント業務を本格的に担当
- 目標設定:
 - o チーム目標と個人目標を 1on1 を通じてメンバーと設定
 - 目標達成に向けた進捗確認と適切なサポートを実施
- 工数・リソース管理:
 - チーム全体のタスクや工数を管理し、効率的なリソース配分を実現
 - o プロジェクトの進捗を正確に把握し、適切な人員配置を調整
- 評価とフィードバック:
 - o 四半期ごとにメンバーの業務評価を実施
 - o フィードバックを基に、スキル向上やキャリア形成のためのアドバイスを提供

プロジェクト推進

- 要件定義・調整:
 - o プロダクトマネージャー(PdM)との密な連携を通じ、要件定義を調整
 - o クライアントからの追加要望をチームに共有し、実現可能なプランを策定
- プロジェクト管理:

- 開発スケジュールの策定と進捗管理
- 課題の早期発見と解決を促進し、プロジェクトを予定通り完了に導く

• 技術的リーダーシップ:

- o チームメンバーが困難に直面した際、技術的な指導や解決策を提案
- 新しい技術やツールの導入を推進し、チーム全体の技術力を向上

チームビルディング

• コミュニケーションの強化:

- o チーム内外との円滑なコミュニケーションを推進
- 他部署やステークホルダーとの関係を強化し、プロジェクト全体の成功を支援

• モチベーション管理:

- ο メンバーのモチベーションを高めるための施策を導入
- ο 成果を適切に評価し、チーム全体の士気を維持